

高校生に大学の授業を体験してもらうコラボレーション講座、第3回講義が行われました。

1限目は、石毛 久美子 先生(武蔵野短期大学 准教授)の「絵本を通してつながる社会」でした。まず、絵本と赤ちゃんをつなぐ「ブックスタート」の歴史、活動、特徴、目的を紹介し、絵本をひらく楽しさを体験してもらうことの意義やSDGsとの関係について解説しました。その後、赤ちゃんの人形を使って絵本の読み聞かせを体験しました。



2限目は、伴 好彦 先生(武蔵野短期大学 准教授)の「もっと楽しく、もっと上手にスポーツするためのコツ」でした。「競技スポーツ」と「楽しむスポーツ」を比較しながら、運動において「本気」「真剣」と「楽しさ」を対立させず両立するよう工夫する方法について解説しました。その後、スポンジボール投げの練習を通じて、楽しむスポーツを体験しました。



コラボレーション講座とは、地域の高校生に大学の授業を体験してもらうプログラムです。国際コミュニケーション学部がある武蔵野学院大学と、幼児教育学科がある武蔵野短期大学が合同で開催していることから、多方面にわたる分野の授業を受けられることが、魅力のひとつです。大学の先生が、普段の講義で行っている内容を分かりやすく説明してくれるので、安心して大学での学びを体験できます。

コラボレーション講座は全8回開講されます。
コラボレーション講座についてはこちらのページをご覧ください。